

(2) 生活基盤が整ったまちづくり

新規 観光宣伝等事業(三倉岳県立自然公園整備事業建設負担金)

494 千円

担当 産業振興課

「自然公園における休憩所やトイレ等の維持管理方針」に基づき、県が実施する三倉岳県立自然公園内のトイレを集約化する事業です。市は、広島県建設事業負担金条例に基づき、総事業費の1/10を負担します。平成29年度は、トイレ2棟の測量設計業務に対する負担金です。

拡充 林道橋りょう長寿命化事業

9,500 千円

担当 土木課

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度が低い林道橋りょうの予防保全のため計画的な補修を行います。

小栗林線2号橋	6,000 千円	橋桁・橋台の補修を行います。
調査設計など	3,500 千円	小栗林線と松ヶ原谷尻線に架かる9橋の定期点検を行います。

ひろしま地産地消促進事業

17,000 千円

担当 産業振興課

広島県中山間地域振興条例に基づき、マロンの里を中心とした地域の活性化と生きがいを生み出す取組です。地域が一体となって野菜づくりを行い、一定量の野菜を集めて給食センターへ出荷し、地域産業（農業）の維持と地産地消を促進します。また、集荷拠点になるマロンの里の機能を充実します。

ひろしまの森づくり事業

9,833 千円

担当 産業振興課

県土の保全や水源かん養など、森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を財源として、県民全体として森林を守り育てる事業を推進します。

平成29年度以降も引き続き、人工林や里山林の整備、森林の間伐、鳥獣被害を削減・防止するためのバッファゾーン（緩衝地帯）を整備します。

平成27年度から始めた「山の日県民のつどいinおおたけ」の開催を支援し、森林や木材に対する市民の意識を醸成します。また、地域資源保全事業を引き続き実施し、平成29年度から公園周辺の広葉樹や竹林の整備に着手します。

産業振興奨励事業

41,325 千円

担当 産業振興課

新たに立地や設備投資などを行った企業に対して奨励金を交付する制度により、本市への企業立地、市内企業の設備投資及び産業の振興を図ります。

中小企業経営安定支援事業(中小企業技能講習会受講料補助金)

1,000 千円

担当 産業振興課

本市の基幹産業である化学工業及び紙・パルプなどの基礎素材型産業を支える中小企業における人材育成のための事業です。事業所の従業員が受講する民間教習機関が実施するフォークリフト、玉掛け、ボイラー取扱などの技能講習受講料の半額を助成します。（平成28年10月スタート）

商店街等振興奨励事業(商店活性化補助金)

1,500 千円

担当 産業振興課

市内の商業活性化を図るため、商業者3人以上が連携したグループが提案し、主体的に実施する商業活性化イベントや創業(起業)支援に関する事業などに対して、助成金を交付する「商業者連携チャレンジ事業」を行います。(平成28年10月スタート)

新規 小方地区のまちづくり事業

6,000 千円

担当 企画財政課

JR新駅設置を前提に、遊休地となっている旧小方小・中学校や市民プールの跡地を活用して、将来にわたり活力ある「まちづくり」を進めます。

亀居公園や晴海臨海公園、県商業用地などの周辺施設との連動効果も見据えながら、子育て世代が住みたいと感じるまちとすることで、市全体の魅力を向上させていきます。

平成28年度に策定した「小方地区のまちづくり基本構想」に基づいて、将来の全体像を描きながら段階的に整備を進めていくため、平成29年度は、ゾーンを特定し活用策や運営手法を検討します。

新規 晴海臨海公園整備事業(ファミリーゾーン遊具整備)

120,000 千円

担当 都市計画課

幅広い年齢層の方が訪れる公園の整備を進めるため、ファミリーゾーンの整備に着手します。

平成29年度はファミリーゾーンに大型遊具などを整備し、子どもから高齢者までが憩い、楽しめるレクリエーションの場を提供します。

拡充 白石墓地移転事業

11,642 千円

担当 環境整備課

国による砂防事業の計画区域内にある白石地区の共同墓地について、公共補償による移転を行います。
平成29年度は、移転先となる新しい墓地の実設計などを行います。

拡充 漁港施設維持管理事業

43,310 千円

担当 土木課

漁港利用者の円滑な漁業活動や安全を確保するため、日常的な巡回点検により漁港施設の損傷・劣化を発見し必要な対策を早急に行います。予防保全のため、計画的に保全工事を行い長寿命化を図ります。

猪子西浮棧橋	18,000 千円	阿多田漁港猪子西浮棧橋の腐食劣化した係留チェーンを取り替えます。 施工数量4本
玖波漁港内道路	2,200 千円	玖波漁港内道路の損傷が大きい交差点部の舗装修繕を行います。
漁港機能保全計画修正	6,500 千円	玖波と阿多田の漁港施設の保全工事を計画的に実施できるよう、漁港施設機能保全計画を修正します。
漁港海岸保全施設長寿命化計画策定	7,500 千円	玖波と阿多田の漁港海岸保全施設について、適切な維持管理を促進するため、施設点検を行い長寿命化計画を策定します。
施設維持工事	6,000 千円	漁港利用者の円滑な漁業活動や安全を確保するため、必要な対策を行います。

拡充 道路・橋りょう維持事業

62,765 千円

担当 土木課

道路利用者の安全を確保するため、日常的な巡回点検や定期点検を実施し、道路や橋りょうの損傷・劣化を発見し必要な対策を行います。

地域公共交通整備事業

78,822 千円

担当 自治振興課

市民、事業者、行政などで構成する大竹市地域公共交通活性化協議会で策定した「大竹市地域公共交通総合連携計画（第2期）」に基づき事業を展開します。

計画の基本方針である「住民自らが守り育てる」という視点を大切に、地域のみなさんと一緒に考えながら進めていきます。

本格運行中の「こいこいバス」や「三ツ石地区乗合タクシー」をはじめ、既存の栗谷線・坂上線，広原・谷和地区タクシーを運行（助成）します。

実証運行中の3つのフィーダー（支線）交通（栄ぐるりんバス・湯舟のりあいタクシー・ひまわりタクシー）については、運行状況などを検証し、必要に応じて見直します。

新たなフィーダー交通の検討・導入や既存路線の見直しなどを進めながら、市民生活の利便性の向上とまちの活性化に向けて、移動環境を整備します。

また、島民の生活に欠かせない離島航路（阿多田島汽船）の運営に対して補助します。

玖波駅西口駅舎維持管理事業

11,990 千円

担当 自治振興課

玖波駅利用者の利便性を向上させるとともに、安全かつ快適に駅が利用できるよう、駅西口の改集札口となる駅舎施設の維持管理を行います。

斎場管理事業

28,680 千円

担当 環境整備課

施設を適切に管理運営するため、老朽化した火葬炉内の耐火レンガの補修などを行います。

可燃ごみの広域処理事業

504,860 千円

担当 環境整備課

「廿日市市が整備する一般廃棄物処理施設のうち焼却施設等の整備及び維持管理に係る基本協定書」の合意事項に基づき、引き続き平成31年度からの稼働に向けて協議・検討を進めます。

平成29年度も引き続き廿日市市内に整備中の次期廃棄物処理施設の建設などに係る負担金を拠出します。

また、本市に整備予定の市域の可燃ごみを集積する中継施設の基本設計・発注仕様書を策定します。

ごみ減量化・資源化促進事業

12,100 千円

担当 環境整備課

ごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の3Rの実践を積極的に推進します。

ごみの減量化に取り組む資源回収団体に対する回収量に応じた報奨金の交付や、生ごみ処理容器購入費の助成により、家庭ごみの減量化に取り組めます。

橋りょう長寿命化事業

93,170 千円

担当 土木課

<p>橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度が低い市道橋りょうの予防保全のため計画的な補修を行います。また健全性の診断のため、5年に1回の定期点検を実施します。</p>		
恵川橋	40,000 千円	平成28年度と29年度の2カ年で補修を行います。平成29年度は橋桁と橋台の補修を行います。
能保里橋	34,000 千円	橋桁の補修を行います。
定期点検	10,500 千円	40橋の定期点検を行います。
調査設計	8,500 千円	定期点検で補修が必要と評価された新町橋（小方）と二井橋（木野）の調査設計を行います。

道路・橋りょう新設、改良事業

42,448 千円

担当 土木課

<p>交通の安全と道路環境の整備のため、市道の改良などを行います。</p>		
西栄南栄2号線	18,000 千円	道路排水機能と路面振動などの改善のため、道路側溝改良と舗装改良を行います。施工延長L=87m
本町元町1号線	9,000 千円	道路排水機能と道路幅員の有効利用のため、道路側溝改良と舗装改良を行います。施工延長L=80m
元町木野線	5,300 千円	小瀬川沿いの道路法面の侵食崩壊を防除するため、平成29年度は地質調査や概略検討を行います。
青木線	1,000 千円	道路幅員を確保するため道路側溝の改良を行います。施工延長L=20m
設計測量など	5,000 千円	道路改良などが必要な箇所調査設計を行います。

県道等整備事業

13,500 千円

担当 監理課

県が実施する大竹湯来線，栗谷大野線及び国道186号の道路改良事業費用の一部を負担します。

港湾施設の修築・改良事業

29,667 千円

担当 監理課

平成29年度は県の施設である大竹港における，御幸地区の護岸工，排水機場改良のほか，東栄地区のヤード照明工，荷さばき地舗装改良などを県が実施し，その費用の一部を市が負担します。

都市計画マスタープラン等策定事業

4,468 千円

担当 都市計画課

まちづくりの具体性ある将来ビジョン，地区別のあるべき市街地像を示すとともに，地域別の整備方針や経済活動などを支える諸施設の都市計画の方針を明らかにするための都市計画マスタープランを策定します。

平成29年度は都市計画マスタープラン策定委員会やワークショップなどを開催し，都市計画マスタープラン改訂素案を作成します。

大竹駅周辺整備事業

39,200 千円

担当 都市計画課

J R山陽本線で分断されている市街地の東西間を跨線橋（こせんきょう）の自由通路で結ぶとともに，駅舎の橋上化と自由通路との一体化による駅利用の利便性向上と，東西駅広場の整備改良による他の交通機関との交通結節機能を改善します。平成29年度は鉄道施設の物件補償費などを算定します。

空家対策事業

7,118 千円

担当 都市計画課

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家対策を進めます。
平成29年度は空き家の実態を把握するための調査を実施します。

住宅改修等補助事業

6,859 千円

担当 都市計画課

耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市内の戸建木造住宅の耐震改修を促進するため、耐震診断及び耐震改修する費用の一部を助成します。
耐震診断費用の2/3(上限3万円)・耐震改修費用の1/2(上限40万)を補助します。
生活環境の向上により安全で安心して快適に住み続けられるよう、また定住の促進につながるよう大竹市内に居住している方及び大竹市内に居住予定の方に対し、住宅リフォームに要する費用の一部を助成します。
助成対象費用の1/10(上限20万円)を補助します。
土砂災害特別警戒区域内の既存の住宅・建築物の所有者に対し、国が平成27年2月に新設した土砂災害対策事業を活用して、土砂災害対策改修に要する費用の一部を助成します。
工事費の23%(上限75.9万円)を補助します。

市営住宅御園団地整備事業

98,800 千円

担当 都市計画課

高齢者対策等住宅施策に対応した住戸として御園6号棟(鉄筋コンクリート造8階建、住戸数80戸、エレベーター設置)を整備します。
平成29年度は、昨年引き続き建設工事を行います。
御園6号棟は平成29年12月末完成予定です。

岩国大竹道路建設事業

担当 監理課

引き続き、岩国大竹道路建設に国と協力して取り組みます。
(※国の事業のため、事業費は計上していません)

【公共下水道事業会計】

担当 上下水道局

防鹿地区公共下水道整備事業

20,000 千円

居住環境の改善や公衆衛生の向上のため、平成30年度の完成を目標に防鹿地区の下水道整備を行います。この事業により、公共下水道事業計画区域内における整備が、ほぼ完了します。

下水処理場汚泥処理棟機械電気設備改築更新事業

260,000 千円

大竹市下水道長寿命化計画に基づき、当該施設の汚泥脱水機1台の改築更新を行います。前年度に引き続き実施する2ヵ年事業です。